

札幌アーティスト・イン・スクール事業

# おとどけアート

活動記録集 2008-2013

制作 おとどけアート実行委員会 編集 一般社団法人AISプランニング

タイトル

日本列島



ストーリー

2500年ほど前の日本列島。



## おとどけアートによせて

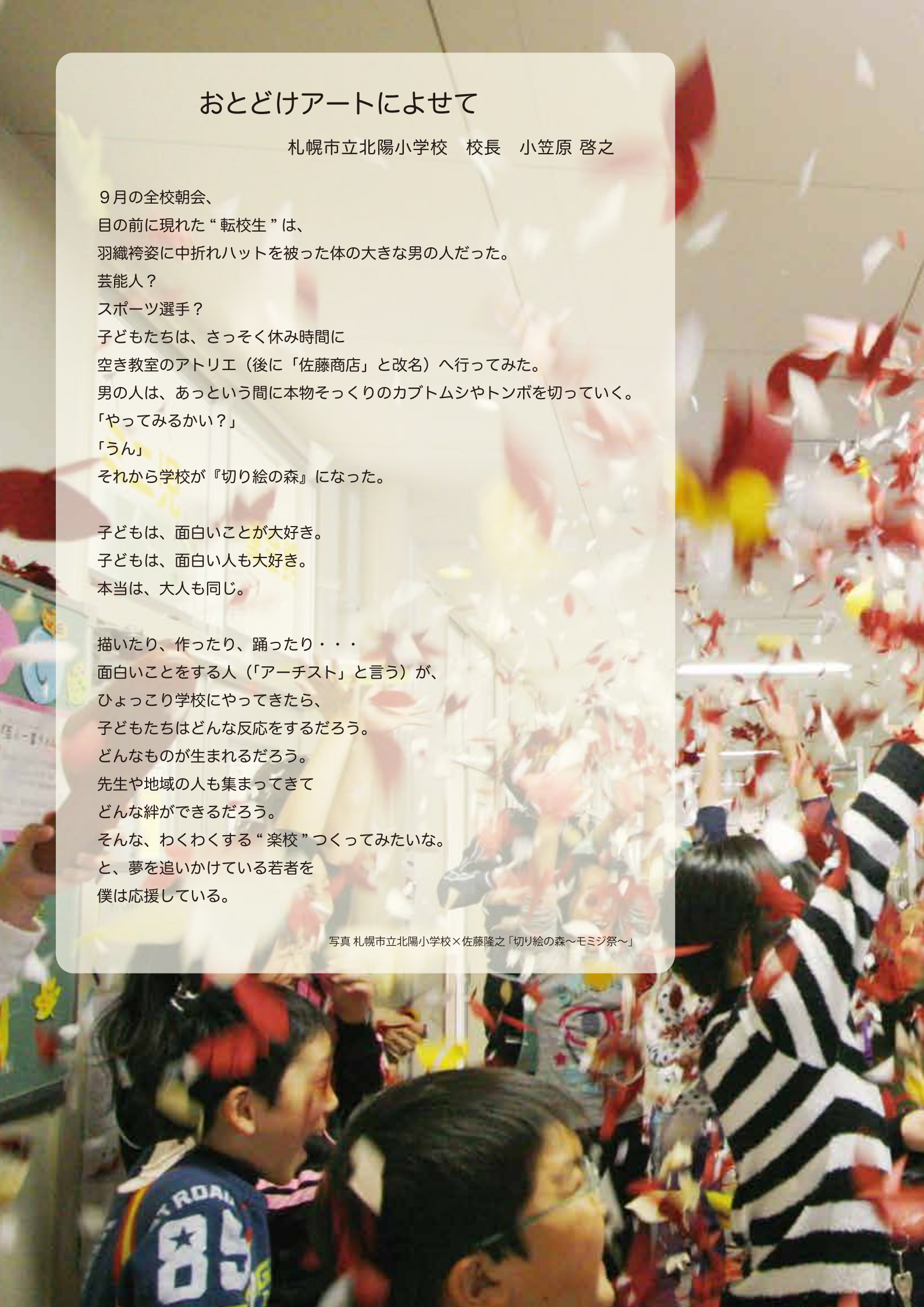
札幌市立北陽小学校 校長 小笠原 啓之

9月の全校朝会、  
目の前に現れた“転校生”は、  
羽織袴姿に中折れハットを被った体の大きな男の人だった。  
芸能人？  
スポーツ選手？  
子どもたちは、さっそく休み時間に  
空き教室のアトリエ（後に「佐藤商店」と改名）へ行ってみた。  
男の人は、あっという間に本物そっくりのカブトムシやトンボを切っていく。  
「やってみるかい？」  
「うん」  
それから学校が『切り絵の森』になった。

子どもは、面白いことが大好き。  
子どもは、面白い人も大好き。  
本当は、大人も同じ。

描いたり、作ったり、踊ったり・・・  
面白いことをする人（「アーティスト」と言う）が、  
ひょっこり学校にやってきました、  
子どもたちはどんな反応をするだろう。  
どんなものが生まれるだろう。  
先生や地域の人も集まってきて  
どんな絆ができるだろう。  
そんな、わくわくする“楽校”つくってみたいな。  
と、夢を追いかけている若者を  
僕は応援している。

写真 札幌市立北陽小学校×佐藤隆之「切り絵の森～モミジ祭～」





## 「初雪祭り！」

すごい、きれいなんだよなあ。

子ども達が切ってきてくれた、「もみじ」  
その中に、佐藤さんやスタッフのみんなで作った、「雪」  
が舞い上がる様子。

大人になると、子どもの頃のように  
「ドキドキ」や「ワクワク」ってことが  
ほとんどなくなるんですね。

でも、この空間で子ども達と一緒に遊んでいると、  
あの頃の  
「ワクワク」や「ドキドキ」を思い出す。

子ども達の中で、その笑顔を目にして、  
「嬉しい」「楽しい」が、  
彼らを通じて伝わってきているのかもしれない。

純粹に、「たのしい」を感じる。  
本当に、シンプルなことなだけで、  
素直な自分で、  
素直な気持ちで、  
「たのしい」と向い合う、ということが  
人生の中でどれだけあるのか？

そんな経験を、してみよう。

与えられたものではなくって、自分たちの手で。  
それは、みんなで作られることなだけだから。  
「ワクワク」「ドキドキ」を失ってはいけない。

未来に想像を広げる力、  
未知の世界に踏み出す勇気は、  
その気持ちなだけだから。



# おとどけアート(アーティスト・イン・スクール事業)が目指すもの

## 1) アート活動による創造的な体験を通じての人材育成

アート(芸術)には一般常識や従来の考え方とは異なる価値観や視点を提示する働きがあります。日常生活や社会の中にアートが浸透することで、これまでになかった多様な価値観・生き方に触れ、様々な個性や感性を互いに認め合える状況が生み出せると考えております。おとどけアートを通じて子どもたちが世界観、人生観を広げ、かつ新たな人間関係の中でコミュニケーションを取り合い自由に表現を行い、理解し合う場を創出します。

## 2) 小学校に地域コミュニティの核(拠り所)となる状況を作り出す

アーティスト(芸術家)が子どもたちと共に創作活動を行うことで保護者や教職員、地域の方々を巻き込み、小学校がその地域における人々の集いの場として機能し、知識や経験を共有し学び合える環境を生み出します。またそこで生まれたつながりによって、住民が中心となったお祭りや行事が継続的に行われるなど、安心で豊かな暮らしづくりに貢献します。



## おとどけアート(アーティスト・イン・スクール事業)の成り立ち

本事業は、NPO法人S-AIRが実施しているアーティスト・イン・レジデンス<sup>\*1</sup>から派生したアーティスト・イン・スクール(小学校を拠点にアーティストが滞在・制作をするプログラム)の仕組みを基盤としています。この活動は、2003年度から同法人が中心となり、十勝を発祥として、北海道内の様々な地域、学校を対象に実施。現在は、一般社団法人AISプランニングが、事業の企画・コーディネートを行っています。札幌市では、2006年度からトヨタ自動車の社会貢献事業の一環である「トヨタ・子どもとアーティストの出会いIN札幌」<sup>\*2</sup>として展開してきました。そうした実績と経緯を踏まえ、2008年度以降は、「第二次札幌市新まちづくり計画」の一部として、新たに「おとどけアート実行委員会」を立ち上げ、同実行委の運営により2014年3月までで17校の小学校で活動を実施しております。

### \*1 アーティスト・イン・レジデンスについて

ヨーロッパを起源に400年ほど前から始まった、芸術家を支援するプログラムです。芸術家に一定期間、住居と制作場所を提供する芸術家のための奨学金制度に近い内容のシステムで、現在でもヨーロッパ、アメリカの欧米諸国、日本では近年多くの地方自治体が事業実施をしています。

### \*2 トヨタ・子どもとアーティストの出会いについてはこちら <http://artists-children.net/>



# おとどけアートの三つの特徴

## ①アーティストは期間限定の転校生！

本事業では約2週間、芸術家が展開する活動を通じて、普段の学校生活では味わうことのない刺激的な時間と空間を提供します。芸術家は講師ではなく「転校生」として紹介され、子どもたちにとってより身近な存在として滞在し、交流を行います。また、先生や保護者、地域住民の方々との交流も積極的に行い「学校とアートがつなぐ地域のきずな」を育む活動を目指します。



## ②余裕教室が芸術家のアトリエに変身

学校にある余裕教室を使ってアーティストが様々な活動を展開します。また余裕教室のほかにも、授業や学校行事と競合しない範囲で学校施設(図工室、視聴覚室など)を活用しながら、小学校の魅力を引き出し、非日常の「ドキドキ」「ワクワク」を演出します。

～アーティストが行う主なプログラム～

踊り

演劇

造形

映像

音楽

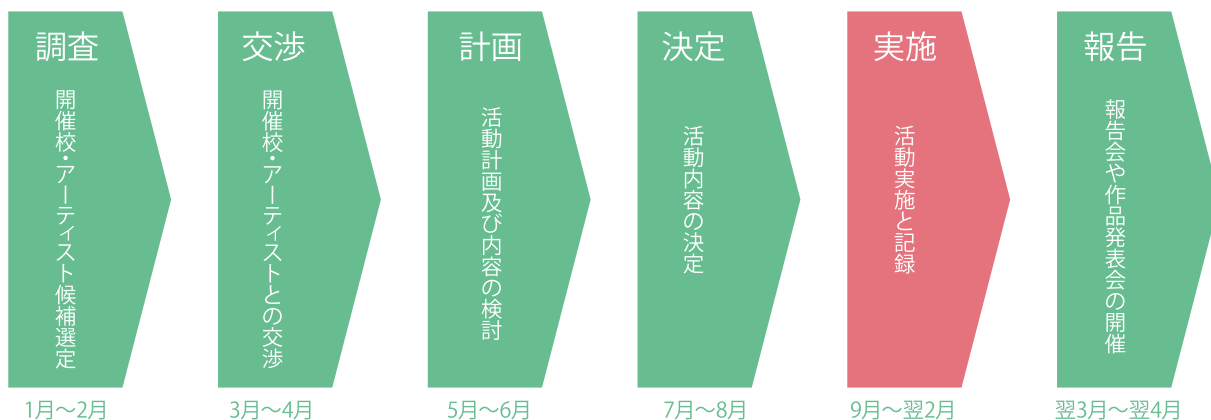
## ③休み時間や給食時間にアーティストと交流しよう！

本事業は、子どもたちが自由な休み時間や給食時間、放課後を利用した交流活動を前提としています。カリキュラムに影響を与えることなく、学校生活に自然な状態でよりそい、共存することを理想としています。また、要望次第で授業における連携も行います。

～小学校の一日の流れと交流時間例～



# おとどけアートの事業の流れ







#### ■活動内容

日常編集家のアサダワタルさんが資生館小学校を訪れ、子どもたちと共に「音楽」をテーマに創作活動を行いました。子どもたちが「どうしても忘れられない思い出の歌」や「いまの自分たちと同じ年頃に聴いていた大好きな歌」について、先生や職員さん、お父さんやお母さんといった日常生活の中で身近にいる大人たちに取材を行うことから活動が始まりました。その中からセレクトされた曲のエピソードや取材をもとにした文章、CDジャケット写真、その時代のニュース写真や子どもたちのイラストが、活動のアトリエである「歌と記憶のファクトリー」の中に展示されてゆきました。最終日には子どもたちが撮影した先生へのインタビューの様子や、思い出の歌をカラオケで歌い録音した音声を編集、映像にし、子どもたちの生歌を交えて体験してもらう場が生まれました。子どもたちがいつまでも「音楽を“友達”にして生きていく人生」を過ごし、幸せになってほしいという願いからこの活動が行われました。

#### ■活動概要

活動タイトル：『歌と記憶のファクトリー』

活動期間：2013年8月20日(火)～10月4日(木)

開催校：札幌市立資生館小学校

参加対象範囲・参加人数

(児童数607名／教職員数48名／一般参加 約20名 計 約680名)

活動場所：空き教室、音楽室等

#### ■アーティストについて



アサダワタル  
滋賀県在住／日常編集家

文筆と音楽とプロジェクトを手段に、価値観の異なるコミュニティ同士の関係をリミックス。2002年、バンド越後屋のドラマーとして、くるりプロデュースレーベルよりデビュー。2003年以降、ソロやユニットで活動し、教育・福祉現場における表現ワークショップの実施。著書に『住み開き家から始めるコミュニティ』（筑摩書房）など。2013年、ドラムを担当するSjQ++にて「Prix Ars Electronica 2013」受賞。HP <http://kotoami.org/>



身近にいる大人たちの絵を描いてみよう！



リズムに乗って、連想した言葉を言い合います。



最終日には活動を振り返りながら歌いました。



# 参加者の声



ドラムとか叩いてて、すごくカッコ良くて見てて楽しかった。(1年生児童)

普段できないけれど、いつか(子どもたちが)やってみたいと思っていたことをやってくれたように思います。(教職員)



みんなで歌ったり、楽器を演奏してとても楽しかったです。またこういう機会があればやりたいです。(6年生児童)



交流活動に行った日は、いつもどんな事をしたか話してくれました。活動に参加するにつれて、「カラオケで歌った」と言っていたので、自分なりの表現ができるようになったんだと感じました。(保護者)



絵を描くことや、マイクで初めてうたったから、初めてのことがいっぱい楽しかったです。(3年生児童)

歌を歌ったりインタビューをしたりして楽しかったです。アサダさんと歌を考えたことや、みんなと遊んだ時間が楽しかったです。(2年生児童)



歌を歌ったり、写真を貼ったりして楽しかったです。歌を歌うことが楽しかった。(4年生児童)



私はあまり人と話すことがニガテだけど、アサダさんが優しく話しかけてくれてすごくうれしかった。そして、友だちと話すときになんかいつもと違って、ワクワクしたりしていた。色々な楽器もさわって、とても楽しかった。(5年生児童)







#### ■ 活動内容

美術家(立体切り紙作家)の佐藤隆之さんが9月から12月にかけて1週間に1回のペースで学校に通い、北陽小学校を切り絵の森に変えてゆくというテーマで活動が行われました。カブトムシやトンボといった昆虫の切り紙を紹介し、子どもたちと共に作り完成した作品は窓や壁面に展示し小学校を切り絵の森に変えてゆきました。10月にはモミジやイチヨウといった植物を紙で作り、落ち葉に見立ててたわむれる「モミジ祭」という遊びも生まれました。また、段ボール製のカエル作りや、クリスマス時期にはリースやトナカイ、ツリーの製作も行われました。最終日には「メリクリまつり」と称したお披露目会が開かれ、これまでの活動をスライドで鑑賞したり、踊りやパフォーマンスが行われました。この活動を通じて、小学校の中に長期間にわたって非日常を作り出し、様々な年代の子どもたちが集まる新たな交流の場を生み出しました。

#### ■ 活動概要

活動タイトル:『切り絵の森 ～モミジ祭～』  
活動期間:2013年9月1日(日)～12月24日(火)(隔週登校:全16日)  
開催校:札幌市立北陽小学校  
参加対象範囲・参加人数  
(児童数337名/教職員数23名/一般参加 約40名 計 約400名)  
活動場所:空き教室、図工室、廊下、ミニ児童会館等

#### ■ アーティストについて



佐藤隆之 さとう たかゆき  
札幌市在住/美術家

音威子府村出身。2005年ごろから立体切り絵(ペーパークラフトチュア)やワイヤーアートを手がける。作品展、パフォーマンス、ワークショップ、養護学校などでの美術講師として活動。2007年に北海道庁主催・天皇皇后両陛下ご列席の「全国植樹祭」より招待参加。さっぽろアートステージ「500m美術館」、北海道文化財団企画展、六花亭「六花ファイル」、ホテルオークラ札幌、札幌芸術の森美術館、きのとやカフェでの作品展示。



朝、クラスに佐藤さんがやってきます!



アトリエ「佐藤商店」で立体切り絵に挑戦!



「ねえ、何してるの?」「みんなの作品貼ってるよ～」



# 参加者の声



佐藤商店で作ったクワガタが  
おもしろかった思い出に  
こっています。  
(5年生児童)



初めて佐藤さんが来たときは、どんな  
ことをしてくれるのかな?と思いま  
した。教室に来てくれた時はトンボを  
切ったり、クワガタやカブトムシを  
作っていたので、びっくりして図工室  
に遊びに行きました。(4年生児童)



学校が前より明るく楽しかった。  
友だちとおとどけアートの話をして、  
盛り上がった。(6年生児童)

あまり遊ばない人と一緒にいて  
仲良くなった。(5年生児童)



図工や物作りなどがとても大好きに  
なったことです。あと、真剣に物を作  
ることはこんなに楽しいとは思いま  
せんでした。(4年生児童)

アーティストが来ると楽しくて、「また  
行きたい」「また来よう」と思うよう  
になり、いい経験になった。(6年生児童)



友達とおとどけアートに行ってカエルを  
背中にしょって写真を撮ってもらった  
事や、カエル作りをした事がたのし  
かったです。(4年生児童)

前より物を作ることがとても好きに  
なりました。カエルダンスに堂々と  
出て、恥ずかしながら物ごとを進  
めれるようになった。(6年生児童)







### ■活動内容

10月1日よりパフォーマーの<sup>かがしょうまさき</sup>加賀城匡貴さんと子どもたちとの交流が始まりました。期間中、三里塚小学校は「ミ」里塚小学校に名称変更。玄関前スペースをアトリエとして中休み・昼休み・給食時間に子どもたちと触れ合いながら、学校のあらゆるものを普段とは違った視点で見立てたものを作品とし、「ミ」里塚小学校の中に「ミ」里塚ミュージアムを作り上げました。最終日12日(土曜参観日)には全校児童と保護者にお披露目発表会を行い、これまで子どもたちと2週間の活動で共に作り上げた作品の数々を鑑賞し、5年生が授業で制作した「ミ」里塚ミュージアムオープン記念CMを発表しました。

※「ミ」里塚小学校とは・・・三里塚の「三」を少し違う角度から見てみると、カタカナの「ミ」に見えます。見方を少し変えて「ミ」することで、これまでと違った世界が広がってくる、それが「ミ」里塚小学校です。

### ■活動概要

活動タイトル:『「ミ」里塚小学校』

活動期間:2013年10月1日(火)~10月12日(土)

開催校:札幌市立三里塚小学校

参加対象範囲・参加人数

(児童数362名/教職員数36名/一般参加 約60名 計 約460名)

活動場所:空き教室、体育館、廊下、小学校敷地内

### ■アーティストについて



加賀城匡貴 かがしょう まさき  
札幌市在住/パフォーマー

笑い、アート、教育をインスピレーションソースにした作品を発表している。1999年、ステージパフォーマンス「スケルツォ」第1回公演。スケルツォの主な公演歴に、2010年、『もの見方が変わる公演』。2011年、『1%インスピレーション』。2013年、『シーン』など。ミニ番組『ミ・タ・テ』(NHK Eテレ)企画構成。同番組は、札幌ADCコンペティション&アワード2013準グランプリ、東京TDC賞2014入選。著書に、『脳トレ!パッとブック』(全4巻/教育画劇)。

<http://scherzosketch.com/>



今日から三里塚小は「ミ」里塚小になります!



「見つけたよ〜」「んっ、何を発見したんだ〜」



これが「ミ」里塚ミュージアム名物、顔ハメ看板!!



# 参加者の声



いろいろな見立てが楽しめてよかった!(1年生児童)  
前まではそのものに見えていたけど、加賀城さんが来てから何かが変わったような気がした。(3年生児童)



みんなが見つけた見立てに色々なストーリーや名前をみんなで付けて、いっぱい楽しい思い出ができた。(2年生児童)



様々な見方ができるようになったと感じる部分が多くありました。国語や算数、普段の友達とのかかわりの中でも「見立て」という言葉が出てくるようになり、子どもたちの心におちたのだなと感じました。(教職員)



いつもより一人であることが少なくなったし、みんな喜んでいる。休み時間はおとどけアートに行くことがたくさんあった。(4年生児童)

加賀城さんといっしょにCM作りをしてとっても楽しくて、思い出になりました。また三里塚小学校に来て下さい!(5年生児童)  
今、見えているものをほかのものに見立ててちがう世界を体験できた。すごく楽しい2週間でした!(6年生児童)

先生方の教える専門外のことを子どもたちが触れ吸収し、「色々な事に興味を持つ」と思う心が刺激されるのではないのでしょうか。とても素敵なことだと思いました。(保護者)





札幌市立北陽小学校 × 風間天心  
 来来光楽園～ライライパラダイス～



■活動内容

現代美術家であり、僧侶でもある風間天心さんが北陽小学校を舞台に「光」をテーマにした創作活動を行いました。子どもたちと巨大なバルーンに絵を描いたり、雪上に巨大な模様を作ったり、スノーキャンドルのための雪像等を制作しました。給食時には「お坊さんの食事方法」を紹介したり、一緒に坐禅を組んだり、子どもたちに様々な世界観に触れ・感じてもらう場をつくり上げました。また、これらの活動は日々「Teng Thing Times(天心タイムス)」という壁新聞として、学校内に張り出され子どもたちや学校を訪れる多くの方々に紹介されました。活動最終日には「天心パラダイスナイト」と称したお披露目会が行われ、北陽小学校のグラウンドが光の楽園となり、子ども達・保護者・地域の方々が訪れその空間を楽しみました。

■活動概要

活動タイトル:「来来光楽園～ライライパラダイス～」  
 活動期間:2014年2月10日(月)～2月21日(金)  
 開催校:札幌市立北陽小学校  
 参加対象範囲・参加人数  
 (児童数337名/教職員数23名/一般参加 約60名 計 約420名)  
 活動場所:空き教室、図工室、廊下、ミニ児童会館等

※この活動は、(公財)福武財団文化・芸術による地域振興の助成、NPO法人モバイルコミュニケーション・ファンドドコモ市民活動団体への助成により行われました。

■アーティストについて



風間天心 かざま てんしん  
 東川町在住/芸術家・僧侶

美術家・僧侶。武蔵野美術大学修了。現代美術を主とした表現活動を続けながら美術と宗教の共有テーマを研究。2006年「第9回岡本太郎現代芸術大賞」入選。2009年曹洞宗大本山永平寺より修行を終えて下山。武蔵野美術大学パリ賞受賞後、パリ市内「国際芸術都市」に滞在。2011年「北海道性の芸術 Ezotic ART」を主張する「EzoticTroupe」を作家仲間と共に設立。  
<http://www.tengshing-k.com/>



日々の活動は天心タイムス(壁新聞)で伝えます。



保護者の方にも協力してもらいました!



最終日は「天心パラダイスナイト」でお別れ。



# 参加者の声



おぼうさんがこれからどんな事をしてくれるんだろ？まさか、おぼうさんのお仕事を教えてくれるんじゃないかな？  
(5年生児童)

天心さんと仲良くなれたし、学校中がちょっと仲良くなった。(4年生児童)



いつもはいっしょに遊ばない違う学年とも接することができるし、自分自身とても楽しいのでまた来てほしいです。お願いします(6年生児童)！

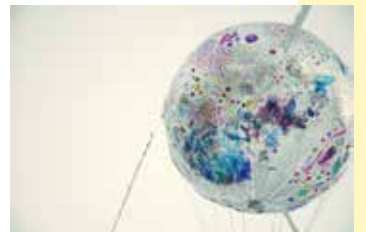


休み時間、いつもみんなが帰ってくるとき笑顔だった。(5年生児童)



天心パラダイスナイトに行って、すごい大きい風船を見て、びっくりした！(4年生児童)

最後の天心パラダイスナイトが一番心に残りました。山の上から見た景色がすごくきれいでした。(6年生児童)。



キャンドルを作りながら話して楽しかった。(4年生児童)

天心さんやおとどけアートのスタッフの人と一緒にいた時はなぜかいつもワクワクしていて、今でもグラウンドに行くとワクワクする！(6年生児童)





# 石山東ショーリンピック 2012



## ■活動内容

タイムや点数ではなく、発想やアイデアを競う種目を考案し、それを競う「石山東ショーリンピック」という大会を開催。子どもたちは選手として参加するだけでなく、大会運営や広報といった様々な場面で活躍しました。また、同時進行で校歌をもとにした新しい体操「校操」を開発し、最終日にみんなで踊りました。この活動を通じて、創造し作り上げる達成感を体験してもらいました。

## ■活動概要

活動期間：2012年8月20日～9月6日

参加対象：児童数 140名 / 教職員数 16名 / 一般参加者 50名 計 200名



## ■アーティストについて

トムスマ・オルタナティブ 富山県在住 / 現代美術家  
愛と笑いを素材にした現象を生み出す美術家。ユーモアを通して、ラブ＆ラフのある世界を育む。平成バカラシー運動旗本 / 「てのり湯。」家元 / ゼツポ→開発研究所所長。

# Tommyの字遊探険(じゆうたんけん) 2012



## ■活動内容

子どもたちにとって身近にある風景やものをモチーフとした漢字キャラクター「MOJITOMO」を募集・制作し、それを MOJITOMO 図鑑にまとめました。活動期間中に ART 書ワークショップも開催し、最終日には子どもたちによるパフォーマンスも行われました。活動を通じて、文字をより身近な存在として認識し、文字が持つ創造性や可能性に気づき体験してもらおうことを目指しました。

## ■活動概要

活動期間：2012年10月1日～10月13日

参加対象：児童数 493名 / 教職員数 30名 / 一般参加者 400名 計 920名

※特別協賛「人と生活をつなぐ土佐和紙の(有)高岡丑製紙研究所(和紙の提供)」



## ■アーティストについて

本田 蒼風 ほんだ そうふう 東京都在住 / アート書家  
文字や言葉のチカラをルーツから紐解き、感情の動きを、筆を使って表現する新しい書のあり方を探求し、その魅力を伝える活動(ワークショップ、講演等)を行っている。

# SNOW GARDEN SHOW 2012



## ■活動内容

アーティストの小川さんが冬の庭作り「スノーガーデニング」を子どもたちと共に行いました。スノーガーデニングには草花のスタンプ、市松模様(正方形が並んだ格子模様)、足あとで作る巨大模様といった種類があり、活子どもたちはそれらの制作や用具の開発・研究を行いました。この活動を通じて、子どもたちが新たな見方や価値観で、冬や雪と向き合う体験をしました。

## ■活動概要

活動期間：2013年2月1日～2月15日

参加対象：児童数 484名 / 教職員数 32名 / 一般参加者 150名 計 670名



## ■アーティストについて

小川 智彦 おがわ ともひこ  
札幌市在住 / ランドスケープアーティスト  
どのように風景を見たり捉えられるのかということを主題に、スタイルと場所を選ばず作品の制作・発表、ワークショップを行う。

# 秋のひみつ基地 2011



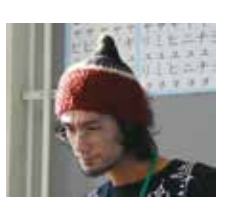
## ■活動内容

落ち葉やドングリといった秋の素材を使って、小学校の中庭にひみつ基地を作りました。大きな一枚の葉のティピ(写真)や巨大キノコ、ひみつの噴水などを製作し、中庭に遊びに来た子どもたちが小人になって森をさまようような空間を生み出しました。お披露目会には、ライトアップされた幻想的な雰囲気の中、ひみつ基地で先生方や児童による演奏会を開催しました。

## ■活動概要

活動期間：2011年9月26日～10月15日

参加対象：児童数 320名 / 教職員数 26名 / 一般参加者 200名 計 550名



## ■アーティストについて

小助川 裕康 こすけがわ ひろやす 札幌市在住 / 庭師  
平面作品を中心に数多くのデザインを手がけ、その一方で樹木医師・庭師として2008年から人々-HITOBITO-を立ち上げ、未開拓な北海道の庭を創造し発信し続けています。



札幌市立あいの里西小学校 × 富田 哲司

## 摩訶不思議プロジェクト

2011



### ■活動内容

小学校の一角を「マカマカラボ」としてアトリエ化し、デジタル機器を用いたアレンジで昔遊び（福笑い、だるまさんが転んだ）を行いました。活動の中から生まれた「マカマカ体操」はお昼の放送で大ブレイク、最終日の「マカマカナイト」で参加した子どもたちと一緒に踊りました。また、これまでの活動を映像を通して振り返り、有志の先生達による演劇も披露されました。

### ■活動概要

活動期間：2011年11月28日～12月16日

参加対象：児童数433名／教職員数27名／一般参加者150名 計600名



### ■アーティストについて

富田 哲司 とみた てつし 札幌市在住／美術家・映像作家

グラフィックデザイン、写真、アニメーション、ペインティング、立体など複数の表現手法・媒体を用いて、舞台演出、空間インスタレーションなど制作活動を行うアーティストです。

札幌市みどり小学校 × 山本 耕一郎

## マルダ宮でまるだき湯

2011



### ■活動内容

冬の小学校のグラウンドに「まるだき湯（雪だるまのさかさ読み）」という温泉郷を作りだす活動を行いました。「まるだき湯温泉協会」を発足し子どもたちは広報部・編集部・企画部・制作部として、「のれん」を作ったり、取材をもとに新聞を発行したり、自発的に活動に関わりました。最終日には「まるだき湯」が開店、多くの人々が参加し一夜限りの温泉郷を楽しみました。

### ■活動概要

活動期間：2012年1月17日～2月3日

参加対象：児童数282名／教職員数24名／一般参加者80名 計約480名



### ■アーティストについて

山本 耕一郎 やまもと こういちろう 青森県在住／現代美術家

1998年英国ロイヤルカレッジオブアート大学院修了。全国各地で市民と直接関わるプロジェクトを行うアーティストです。

札幌市立福住小学校 × 齊藤 幹男

## 火星世界旅行

2010



### ■活動内容

札幌ドームやその周辺地域の環境を題材に、空想科学をテーマとした短編映画「火星世界旅行」を制作。撮影スタジオとして図工室を使用し、合成撮影や特殊撮影を行いました。また、子どもたちは出演するだけでなく、宇宙や宇宙人の絵を描いたり、一緒にセットを作るなど、映像制作のありとあらゆる部分に活躍しました。

### ■活動概要

活動期間：2010年11月8日（月）～19日（金）

参加対象：児童数773名／教職員数37名／来場者約150名 計約960名



### ■アーティストについて

齊藤 幹男 さいとう みきお 札幌市在住／映像作家

ドイツで映像を学び、アナログ、デジタル双方の魅力を引き出す映像作品、アニメーション作品の制作を行うアーティストです。

札幌市立清田小学校 × 長谷川 仁

## たんぼぼタワー

2010



### ■活動内容

清田小学校の子どもたちや先生、地域の方々と交流し「たんぼぼタワー」を制作。参加者の皆さんと約900個のレンガを作り、主に清田区内の小学校の釜で焼き、また、地域の方々と一緒に野焼きにも挑戦しました。最終日には、作品の完成披露会を開催し、清田小学校の皆さんや地域の方々にお披露目しました。

### ■活動概要

活動期間：2010年10月12日（火）～19日（火）、11月22日（月）～12月3日（金）

参加対象：児童数346名／教職員数36名／一般参加者約80名 計約460名



### ■アーティストについて

長谷川 仁 はせがわ じん 東京都在住／美術家

社会とのつながり、自然とのつながりをテーマにワークショップや、パブリックアートのデザインを手がけるアーティストです。



札幌市立常盤小学校 × 富士 翔太郎

## みんな星だ! ☆ご近所の宇宙 2010



### ■活動内容

常盤小学校の子どもたちがデザインした星が無数にちりばめられた約90枚の窓枠で構成される巨大なプラネタリウムを制作。お披露目には、大勢の地域住民の方々にお越しいただき、それぞれの星が輝く綺麗な宇宙を体感してもらいました。この活動を通じて、「興味」や「好奇心」が生み出す人との「繋がり」の大切さを知ってもらいました。

### ■活動概要

活動期間: 2011年1月19日(水)~4日(金)

参加対象: 児童数345名/教職員数26名/一般参加約200名 計 約560名



### ■アーティストについて

富士 翔太郎 ふじしょうたろう 札幌市在住/画家  
主に創作絵本、壁画制作で活動し、アートの楽しさやその可能性を様々な媒体を通じて表現するアーティストです。

札幌市立旭小学校 × 片岡 翔

## ゆきだるまとチョコレート 2010



### ■活動内容

旭小学校の子ども達と協働で、短編映画(ショートフィルム)を制作。「ゆきだるまとチョコレート」と題した映画は、片岡さん自らが制作した物語を基に、映画に出演してくれる役者さんやスタッフを子どもたちの中から募集し、一緒に作品を作り上げました。最終日には、作品の上映会を行い、多くの児童、先生、地域の方々にお披露目しました。

### ■活動概要

活動期間: 2011年2月7日(月)~19日(土)

参加対象: 児童数264名/教職員数24名/一般参加約50名 計 約350名



### ■アーティストについて

片岡 翔 かたおかしょう 東京都在住/映画監督  
札幌出身。東京を拠点に映像プロダクション「猫目映画」を設立し、ショートフィルムやPV等、映像制作を行っている映画監督です。

札幌市立屯田南小学校 × 今村 育子

## ゆめのとんでんみなみ村 2009



### ■活動内容

小学校の開校30周年記念事業と連携し、灯りのモニュメントを制作しました。参加者が、授業や休み時間を利用して「夢の家(理想の家)」を作り、個々の家を集合させた「ゆめのとんでんみなみ村」を制作。最終的には、それぞれの家に灯りが仕込まれ、お披露目の際に点灯し、幻想的な情景を生み出しました。

### ■活動概要

活動期間: 2009年11月4日(水)~20日(金) 屯田南小学校30周年記念式典にて

参加対象: 児童数394名/教職員数23名/一般参加約180名 計 約600名



### ■アーティストについて

今村 育子 いまむらいくこ 札幌市在住/アーティスト  
札幌を中心に活動する現代美術家。幼少時代の経験をテーマに、灯りを用いたインスタレーションを主な表現としています。

札幌市立北小学校 × 東方 悠平

## サマーコレクションin冬 2009



### ■活動内容

冬のグラウンドや余裕教室を夏一色に大変身させました。グラウンドには、夏場のビーチを彷彿とさせるヨットや海の家、スイカ畑などを、雪を素材として制作。また、アトリエとなる教室では、「夏」や「地球の反対側(南半球)」をイメージする為の空間づくりを行い、休み時間や放課後に交流の拠点として開放しました。

### ■活動概要

活動期間: 2010年2月8日(月)~24日(水)

参加対象: 児童数302名/教職員数28名/一般参加約130名 計 約450名



### ■アーティストについて

東方 悠平 ひがしかた ゆうへい 東京都在住/アーティスト  
「笑い」をモチーフに人間と世界との関係を描く作品を制作しています。抜群のユーモアと存在感のある作品で全国各地で活躍しています。





■活動内容

小学校のグラウンドに、子どもたちの描いた絵画で装飾した巨大な立体文字を作り、35周年の記念にふさわしいモニュメント制作に挑戦しました。子どもたちには、色や模様、絵を描いてもらい、最終的に文字のパネルに貼り付け作品が完成。子どもたちの活発なエネルギーが地面から天に向かって湧き上がるような作品が出来上がりました。

■活動概要

活動期間：2008年11月10日(月)～12月4日(水)

参加対象：児童数378名／教職員28名／一般参加約50名 計 約450名



■アーティストについて

高橋 喜代史 たかはし きよし 札幌市在住／アーティスト

札幌を中心に活動する現代美術家。主に漫画やアニメなどに出てくる擬音を巨大な立体造形としてつくり出す作品を制作しています。



■活動内容

子どもたちや先生、地域の皆さんと協働でグラウンドに降り積もった雪を活用して巨大なお城のような「迷路」を制作。そこで遊ぶルールやコスチュームを考え、チーム対抗のレースやスノーバトル等を実施しました。この活動を通じて、楽しく豊かな冬の過ごし方を考える機会の創出を目指しました。

■活動概要

活動期間：2009年1月26日(月)～2月6日(金)

参加対象：児童数906名／教職員数40名／一般参加約60名 計 約1000名



■アーティストについて

ルカ ローマ 香川県在住／アーティスト

イタリア、ミラノ出身。現在は香川県在住の彫刻家です。主に、石や木、鉄を素材とした立体造形を行っています。

メディア掲載情報2008～2013



北海道新聞(朝刊)2013年8月22日(上)、北海道新聞(夕刊)2014年2月19日(下)



本活動の取材、見学はいつでも受け付けております。活動概要、開催予定などのお問い合わせもお気軽に事務局担当までご連絡ください。お待ちしております！

※連絡先は裏表紙に記載

■2010年度事業

- 北海道通信2010年11月9日 掲載
- 北海道通信社2010年11月25日 掲載
- 札幌テレビ放送『道産子ワイド179』  
2010年11月25日 放映
- 札幌テレビ放送『ふるさと再発見』  
2010年12月4日 放映
- 北海道テレビ『イチオシ!』  
2010年12月13日 放映
- 北海道新聞2011年2月3日 掲載
- 読売新聞2011年2月4日 掲載

■2009年度事業

- 北海道通信2009年11月9日 掲載
- 北海道新聞2009年11月17日 掲載
- 朝日新聞2009年11月25日 掲載
- 朝日新聞2010年2月9日 掲載
- 北海道通信2010年2月26日 掲載
- 北海道通信2010年3月1日 掲載

■2008年度事業

- 北海道新聞2008年11月18日 掲載
- 北海道通信2008年11月26日 掲載
- 北海道通信2008年12月8日 掲載
- 札幌テレビ放送『どさんこワイド180』  
2008年12月4日 放映
- 北海道新聞2008年12月5日 金曜日 掲載
- 朝日新聞2009年2月1日 掲載
- 北海道新聞2009年2月6日 掲載
- 北海道通信2009年2月9日 掲載
- 北海道新聞2009年3月11日 掲載

■2013年度事業

- 北海道新聞(朝刊)2013年8月22日 掲載
- 北海道通信社2013年12月26日 掲載
- 北海道新聞(夕刊)2014年2月19日 掲載
- 北海道通信社2014年2月28日 掲載

■2012年度事業

- 教育ジャーナル2012年3月号 掲載
- 北海道通信社2012年9月13日 掲載
- 子どもの権利ニュース2013年2月第8号 掲載
- 北海道新聞2013年2月1日 掲載

■2011年度事業

- 北海道テレビ『イチオシ!』2011年10月14日 放映
- 北海道通信社2011年7月20日 掲載
- 北海道テレビ『イチオシ!』2011年10月14日 放映
- 北海道通信社2011年11月19日 掲載
- 北海道通信社2012年2月15日 掲載
- 地域創造2012年3月25日 掲載



# おとどけアート&関連事業実績

## 札幌市(23)

- 2006年10月2日(月)~10月6日(金)・14(土)  
『scherzo school~めあての魅力~』  
札幌市立清田小学校 × 加賀城 匡貴[scherzo]  
(ステージパフォーマー)
- 2007年1月22日(月)~2月2日(金)  
『ゆさぐにのしるがね城』  
札幌市立山の手南小学校 × 野上 裕之(彫刻家)
- 2007年2月5日(月)~2月16日(金)  
『有明という土地の引力、人は旅を経てここに辿りつく。』  
札幌市立有明小学校 × 石川 直樹(冒険家・写真家)
- 2007年11月26日(月)~12月7日(金)  
『原始人になって洞窟をつくらう!』  
札幌市立新陵東小学校 × 宝音&図布(版画家)
- 2008年2月4日(月)~2月15日(金)  
『抱腹☆絶頂 う おるけーのFUJISAN』  
札幌市立新光小学校 × 河田 雅文(美術家)
- 2008年11月10日(月)~11月21日(金)  
『ゴ×7=35(ごしちさんじゅうご)』  
札幌市立太平小学校 × 高橋 喜代史(現代美術家)
- 2009年1月26日(月)~2月6日(金)  
『白い迷宮』  
札幌市立幌西小学校 × ルカ ローマ(彫刻家)
- 2009年11月4日(水)~11月13日(金)  
『ゆめのとんでんみなみ村』  
札幌市立屯田南小学校 × 今村 育子(現代美術家)
- 2010年2月8日(月)~2月24日(水)  
『サマーコレクションin冬』  
札幌市立北小学校 × 東方 悠平(現代美術家)
- 2010年10月12日(火)~12月3日(金)  
『たんぼぼタワー』  
札幌市立清田小学校 × 長谷川 仁(美術家)
- 2010年11月8日(月)~11月19日(金)  
『火星世界旅行』  
札幌市立福住小学校 × 齊藤 幹男(映像作家)
- 2011年1月19日(月)~2月4日(金)  
『みんな星だ! ☆近所の宇宙』  
札幌市立常盤小学校 × 富士 翔太郎(画家)
- 2011年2月7日(月)~2月19日(土)  
『ゆきだるまとチョコレート』  
札幌市立旭小学校 × 片岡 翔(映画監督)
- 2011年9月26日(月)~10月15日(金)  
『秋のひみつ基地』  
札幌市立稲積小学校 × 小助川 裕康(美術家・庭師)
- 2011年11月28日(月)~12月16日(金)  
『摩訶不思議プロジェクト』  
札幌市立あいの里西小学校 × 富田 哲司(現代美術家)
- 2012年1月17日(火)~2月3日(金)  
『マルダ宮でまるだき湯』  
札幌市立みどり小学校 × 山本 耕一郎(現代美術家)
- 2012年8月20日(月)~9月6日(木)  
『石山東ショーリンピック』  
札幌市立石山東小学校 × トムスマ・オルタナティブ(現代美術家)
- 2012年10月1日(月)~10月13日(土)  
『Tommyの字遊探検』  
札幌市立富丘小学校 × 本田 蒼風(アート書家)
- 2013年2月1日(金)~2月15日(金)  
『スノーガーデンショーinもみじの森』  
札幌市立もみじの森小学校 × 小川 智彦(ランドスケープアーティスト)
- 2013年8月20日(火)~10月4日(木)  
『歌と記憶のファクトリー』  
札幌市立資生館小学校 × アサダワタル(日常編集家)
- 2013年9月1日(日)~12月24日(火)  
『切り絵の森~もみじ祭~』  
札幌市立北陽小学校 × 佐藤 隆之(芸術家)
- 2013年10月1日(火)~10月12日(土)  
『「ミ」里塚小学校』  
札幌市立三里塚小学校 × 加賀城 匡貴(ステージパフォーマー)
- 2014年2月10日(月)~2月21日(金)  
『来光楽園-ライヴパラダイス-』  
札幌市立北陽小学校 × 風間 天心(芸術家/僧侶)

## 士幌町(6)

- 2006年12月4日(月)~12月15日(金)  
『物語から飯面を作ろう!』  
士幌町立北中音更小学校 × ルカ ローマ(彫刻家)
- 2007年8月27日(月)~9月7日(金)  
『ヒーローVSゴミ怪物』  
士幌町立佐倉小学校 × ルカ ローマ(彫刻家)
- 2007年10月1日(月)~10月12日(金)  
『たたか=命(人+一+叩)』  
士幌町立北中音更小学校 × 荒川 寿彦(太鼓奏者)
- 2008年7月23日(水)~8月1日(金)  
『むこうのさくら』  
士幌町立佐倉小学校 × 磯崎 道佳(彫刻家)
- 2008年10月6日(月)~10月17日(金)  
『はつがダンス』  
士幌町立北音更小学校 × 平原 慎太郎(ダンサー)
- 2009年8月24日(月)~9月11日(金)  
『ターノタ星からの転校生』  
士幌町立北音更小学校 × タノタイガ(現代美術家)

## 音更町(2)

- 2005年8月22日(土)~8月26日(月)  
『音更未来研究所』  
音更町立音更小学校 × ゴウヤスノリ(ワークショッププランナー)  
&松本 力(映像アニメーションアーティスト)
- 2008年9月1日(月)~12日(金)  
『非日常のあたりまえ』  
音更町立東土狩小学校 × wah(参加型表現活動集団)

## 大空町(1)

- 2013年11月21日(木)~22日(金)  
『最初で最後の写真展』  
大空町立豊住小学校 × 石川 直樹(写真家)

## 浦幌町(2)

- 2009年10月26日(月)~11月6日(金)  
『オペラ 浦幌の大きな海の葉? 山の葉?』  
浦幌町立厚内小学校 × 開発 好明(現代美術家)
- 2011年9月20日(火)21日(水)、11月23日(水)~25日(金)  
『鮭の一生ドキュメント』  
浦幌町立厚内小学校 × 石川 直樹(写真家)

## 幕別町(1)

- 2007年2月20日(火)~3月2日(金)  
『祭太郎が祭をつくる!?!』  
幕別町立遠別小学校 × 祭太郎(パフォーマー)

## 帯広市(4)

- 2005年1月24日(月)~2月4日(金)  
『小菅スケートスクール』  
帯広市立大正小学校 × KOSUGE 1-16(美術家)
- 2006年2月6日(月)~2月10日(金)  
『はなその劇場』  
帯広市立花園小学校 × 杉浦 圭太(俳優・アートインライフ所属)
- 2006年2月18日(土)  
『歌つくる会』  
帯広市立大正小学校 × クニ 河内(音楽家/作曲家)  
&野田 美佳(音楽家/打楽器奏者)
- 2007年9月18日(火)~9月28日(金)  
『自分のコマースルを作ろう!』  
帯広市立立陽小学校 × anti-cool(パフォーマー)

## 様似町(1)

- 2013年7月29日(月)~8月3日(土)  
『夜の展覧会』  
様似町立様似中学校 × 長谷川 仁(美術家)

## 中札内村(1)

- 2011年11月21日(月)~12月2日(金)  
『未来龍十勝大空凧』  
中札内村立中札内小学校 × 遠藤 一郎(未来芸術家)

## 大樹町(1)

- 2010年10月25日(月)~11月5日(金)  
『大樹小で太鼓しよう!』  
大樹町立大樹小学校 × 荒川 寿彦(太鼓奏者)

主催及び関係事業一覧(凡例)

- 十勝アーティスト・イン・スクール事業
- トヨタ・子どもとアーティストの出会い事業
- おとどけアート事業
- 札幌アーティスト・イン・スクール事業
- (公財)北海道文化財団"文化の宅配便"事業
- (公財)北海道文化財団"アート体感教室"事業

## 美幌市(1)

- 2012年8月16日(木)~17日(金)、12月1日(土)~2日(日)  
『はじめての写真展』  
アルテピアッツァ美幌 × 石川 直樹(写真家)

## 羽幌町(1)

- 2009年6月30日(火)~7月1日(水)  
『天売写真館を作ろう!』  
羽幌町立天売小・中学校 × 石川 直樹(写真家)

## 岩見沢市(1)

- 2012年10月13日(土)~14日(日)  
『藤出しパネルを作ろう!』  
岩見沢駅構内 × 長谷川 仁(美術家)

## ニセコ町(1)

- 2006年1月22日(月)~2月2日(金)  
『ドーム/DOME - みんなでドーム』  
ニセコ町立ニセコ小学校 × 磯崎 道佳(彫刻家)

## 真狩村(1)

- 2012年1月12日(木)~13日(金)  
『雪の羊蹄山と住んでいる生き物を作ろう!』  
虻田郡真狩村 × 長谷川 仁(美術家)

## 豊浦町(1)

- 2006年11月7日(火)~11月17日(金)・20日(月)  
『そうきん船が行く - そうきんしゅぶ』  
豊浦町立大岸小学校&鉱山分校  
× 磯崎 道佳(彫刻家)

## 松前町(1)

- 2010年9月27日(月)~28日(火)  
『松前写真館を作ろう!』  
松前町立松城小学校 × 石川 直樹(写真家)



# おとどけアートを広げる活動



実行委員会の様子 定期開催



2010.1.12~15 会場:札幌市役所1Fロビー



2011.11.12 会場:札幌市立稲積小学校

## 実行委員会の定期開催

コーディネーター、文化団体職員、教職員など市民で構成された実行委員会を定期的に開催し、アーティストや開催校の選定、事業の課題についての話し合いを行います。

## 成果発表展の開催

より多くの市民の方々に、本活動について広く認知・理解していただくため、制作した作品や活動の様子を札幌市内の公共空間で展示、紹介しています。

## 活動現場見学会&説明会

本事業を取り組んでみたい、参加してみたい、と考えていらっしゃる学校の先生やアーティストを対象に、実際の小学校での活動を公開し、説明会を行っています。



おとどけアートブログ



2014.1.24 北海道大学出前講座



2014.3.7 活動スタッフ会議のようす

## インターネットによる広報

おとどけアートの日々の活動をHPやブログで紹介しております。活動概要や具体的な現場の状況がご覧いただけます。

## シンポジウム・講演会の参加

事業に興味を抱く学生や市民、専門家の方を対象に開催されるシンポジウム・講演会等へ積極的に参加し活動の認知に努めています。

## 活動スタッフ募集

活動スタッフを募り、事前説明会、活動後の会議を通じて情報を共有しながら、事業の継続、発展に努めています。

## 活動スタッフ募集中！

おとどけアートをもっと知りたい、活動に関わりたいという市民の皆さんを活動スタッフとして募集しております。興味・関心がある方はぜひ一度、担当:小林までご連絡ください。(連絡先は裏表紙に記載)

過去の活動はブログからご覧いただけます⇒ [inschool.exblog.jp/](http://inschool.exblog.jp/)  
“おとどけアート”で検索！

### おとどけアート実行委員会とは

2008年設立。会員数21名。北海道内の大学教員や、札幌市内小学校教職員、文化団体職員、アーティスト、学生などの市民で構成。札幌市の支援を受けて市内におけるアーティスト・イン・スクール事業(おとどけアート)の普及と発展の為に活動しています。

### おとどけアート事務局 アイス 一般社団法人AISプランニング

2007年4月事務所設立。2012年4月から一般社団法人として、様々なアーティストによる活動のコーディネート、企画運営を通じて、学校、文化施設、商店街、公園などに集いの場を作り、人々の交流を促し、地域に暮らす人々がぎざなを深め、文化的・精神的に豊かな社会の創造を目指した活動を展開しています。



# 事業 クレジット

2008年度  
主催：おとどけアート実行委員会  
共催：Sapporo2 project  
協賛：トヨタ自動車株式会社  
後援：札幌市、札幌市教育委員会  
協力：(財)さっぽろ産業振興財団(インタークロスクリエイティブセンターICC)、札幌市立太平小学校、札幌市立幌西小学校、NPO法人S-AIR  
支援：文化庁、札幌市  
企画・コーディネート：一般社団法人AISプランニング

2011年度  
主催：おとどけアート実行委員会  
共催：sapporo2 project  
助成：財団法人文化・芸術による福武地域振興財団  
後援：札幌市、札幌市教育委員会  
協力：札幌市立稲積小学校、札幌市立みどり小学校、札幌市立あいの里西小学校  
支援：札幌市  
企画・コーディネート：一般社団法人AISプランニング

2009年度  
主催：おとどけアート実行委員会  
共催：sapporo2 project  
助成：伊藤組100年記念基金  
後援：札幌市、札幌市教育委員会  
協力：札幌市立屯田南小学校、札幌市立北小学校  
支援：札幌市  
企画・コーディネート：一般社団法人AISプランニング

2012年度  
主催：おとどけアート実行委員会  
共催：sapporo2 project  
助成：財団法人文化・芸術による福武地域振興財団  
後援：札幌市、札幌市教育委員会  
協力：札幌市立石山東小学校、札幌市立富丘小学校、札幌市立もみじの森小学校  
協賛：人と生活をつなぐ土佐和紙の(有)高岡丑製紙研究所  
支援：札幌市  
企画・コーディネート：一般社団法人AISプランニング

2010年度  
主催：おとどけアート実行委員会  
共催：sapporo2 project  
助成：財団法人文化・芸術による福武地域振興財団  
後援：札幌市、札幌市教育委員会  
協力：札幌市立清田小学校、札幌市立福住小学校、札幌市立常磐小学校、札幌市立旭小学校  
支援：札幌市  
企画・コーディネート：一般社団法人AISプランニング

2013年度  
主催：おとどけアート実行委員会  
共催：sapporo2 project  
助成：財団法人文化・芸術による福武地域振興財団  
NPO法人モバイルコミュニケーション・ファンド  
後援：札幌市、札幌市教育委員会  
協力：札幌市立資生館小学校、札幌市立三里塚小学校、札幌市立北陽小学校、  
支援：札幌市  
企画・コーディネート：一般社団法人AISプランニング



## お問い合わせ

おとどけアート実行委員会 事務局  
一般社団法人AISプランニング

〒064-0811  
北海道札幌市中央区南11条西7丁目3-18  
TEL:011-596-6726 FAX:011-596-6727  
E-mail:info@ais-p.jp HP:http://ais-p.jp/  
担当:小林 亮太郎 携帯 070-5288-5367

本事業は「第二次札幌市新まちづくり計画」の一環として  
企画・実施されております

写真(表) 札幌市立三里塚小学校×加賀城匠貴  
活動タイトル:「ミ」里塚小学校

写真(裏) 札幌市立資生館小学校×アサダワタル  
活動タイトル:「歌と記憶のファクトリー」